

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 6 月 23 日

評価対象事業		評価者	文化課長 島田 義正	
共生-28	文学館管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	文化課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	2-(2) 文化	施策の方針	2-(2)-①文化活動の支援・促進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	観覧や教養及び調査・研究に資するため。
効果	鎌倉ゆかりの文学及び文学者に対する理解を深めることができる。

2 令和4年(2022年)度を実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度により、文学館の効率的な管理運営を行った。 指定管理者との役割分担に応じた施設の維持管理を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	文学館管理運営事業	文学館指定管理料	利用者数(人)	91,428 / 60,000		-	152.4%
				70,944 / 70,944		40,950	
02	文学館維持修繕事業	維持修繕料	-	- / -		-	-
				1,052 / 5,061		2,500	
03	危険木伐採事業	危険木伐採委託料	-	- / -		-	-
				1,360 / 1,365		1,364	
04	リスク分担金(市民無料化)	市民無料化に係るリスク分担金	-	/ -		-	-
				2,843 / 7,782		0	
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	14 / 21		21	
			一般財源	76,185 / 85,131		44,793	
			事業費の合計(千円)		76,199 / 85,152		44,814
			人件費(千円)		6,077	4,417	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.2	1.2	0.8	0.4		
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	1		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	文学館管理運営事業	新型コロナウイルス感染症による制限が緩和されたことや、市民無料化、令和5年度からの長期休館による、閉館前の特需により、実績値は目標を大きく上回る結果となった。	指定管理者の専門性等を生かし、文化の支援及び推進に寄与した。	定期的な事務打合せ及び意見交換を継続し、指定管理者と意思疎通を図り、適正な施設運営を行っていく。
02	文学館維持修繕事業	義務的な支出であり、指標の設定には馴染まない。	利用者の安全かつ快適な利用の実現のため。	-
03	危険木伐採事業	義務的な支出であり、指標の設定には馴染まない。	利用者の安全かつ快適な利用の実現のため。	-
04	リスク分担金(市民無料化)	義務的な支出であり、指標の設定には馴染まない。	より多くの市民に地域の歴史・文化に触れる機会を創出し、次世代へとつないでいくため。	-
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	2 民間によるサービスで代替できる事業はあるが、民間による提供が不足している
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	2 目的達成のために手段(最小事業)を改善する余地がある
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-1 受益者負担を求めているが、その額や対象等を再検討すべき事業がある
	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 ○-1 市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要な事業がある
協働	協働実施済の場合のパートナー	市民団体(不特定)

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>文学館は本市ゆかりの文学及び文学者の功績を市民等に発信する場であり、また、本市の文化振興において重要な役割を担っている。また、本市景観重要建築物である本館やバラ園を有する広い庭園等、魅力あふれる施設であり、コロナ禍以前は10万人を超える来館者が訪れた年もあったことから、妥当性については「市民ニーズ」を「変わらずにある」とした。</p> <p>令和4年度は新型コロナウイルス感染症による制限も緩和されたこと、市民無料化、大規模改修前の最後の年度ということもあり、来館者数は目標を大幅に上回る結果となった。</p> <p>文学館は、開館から約40年が経過し、施設・設備の老朽化が顕著であることから、令和5年度～令和8年度にかけては、施設を閉館し大規模改修を行う。閉館中は、市が管理者となり、施設及び収蔵品等について適切な管理に努める。</p>					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	利用料金収入(円)						単位	円
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
指定管理者からの提案による数値目標 (指定管理期間が令和4年度までのため、 目標も令和4年度までとしている。)	目標値	37,880,000	31,000,000	31,500,000				
	実績値	10,152,950	16,706,040	31,186,660				
	達成率	26.8%	53.9%	99.0%				

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	建物延床面積・収蔵数						
団体名	鎌倉市	県立近代文学館 (神奈川県)	大佛次郎記念館 (横浜市)	世田谷文学館	町田市民文学館 ことばらんど		
他市実績	1,412㎡	7,285㎡	768㎡	4,594㎡	2,154㎡		
	86,743点	1,311,000点	71,000点	101,779点	70,323点		

比較事項	総来館者数(R4)・1日平均来館者数						
団体名	鎌倉市	県立近代文学館 (神奈川県)	大佛次郎記念館 (横浜市)	世田谷文学館	町田市民文学館 ことばらんど		
他市実績	49,974人	41,572人	18,279人	72,040人	25,466人		
	167人/日	149人/日	63人/日	240人/日	124人/日		

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	鎌倉文学館と同様に、その土地にゆかりのある文学資料を収集及び展示をする他施設の状況を把握することにより、客観的に評価を行うために比較を行っている。 他施設の来館者数を比較すると、1日の来館者数平均は他施設と比較して多いことが分かる。
--------------------------	---